



現有工事消化能力	定 時 間	2 時 間 残 業

4. 鋼材搭載重量 ( 年 3 月 末 現 在 ) 単 位 ト ン

工 事 区 分	総搭載重量	実 績						予 定												
		年						年												
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
新 造 船 工 事	既 契 約 船 未 契 約 船																			
	小 計																			
	改 造 及 び 修 繕 船 工 事																			
	合 計																			

5. 従業員数 単 位 人

職 種	部 門	造 船 部 門				造 船 部 門 以 外 の 部 門	合 計
		直 接		間 接	小 計		
		新 造	改 造 ・ 修 繕				
工 員	社 内 工						
	社 外 工						
	小 計						
	職 員						
	事 務						
	技 術						
合 計							

備 考

- 生産高の欄には、期間中に発生した総製造費用を記載すること。
- 新造船工程表は、調査時点前6カ月間の実績及び調査時点後1年間の計画を線表とし、船番、船主(外国船の場合はその国籍)、用途、総トン数、載貨重量トン数及び船名を記入すること。  
なお、工事期間が調査時点以後1年をこえる既契約船については、その竣工期まで作成すること。
- 工事時間数は、生産部門の調査時点前6カ月間の実績及び調査時点後1年間の計画を記入すること。  
なお、現有工事消化能力は、1日所定労働時間数7時間、1カ月労働日数25日とし、出勤率は社内工にあっては90%、社外工にあっては100%として算出すること。
- 鋼材搭載重量は、調査時点前6カ月間の実績及び調査時点後1年間の計画を記入すること。